

实践宗教学研究科

1. 実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに、新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また、スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者、臨床家、コミュニティケア人材、ケア指導者等を養成する。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」のいずれかの学問分野における研究課題を理解することができ、基礎的研究に主体的に取り組む力
2. 現場における研究の実践的な意味や役割を理解する力
3. 論理的かつ学術的に構成された修士論文をとおして、実践的課題探求並びに学術に貢献する力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 宗教学を核とする人文学の高度な専門知識もしくは学際的知識を基礎に、実践宗教学における独立した研究者として学術に貢献できる力
2. 研究対象となる実践現場の思想的宗教的基盤および社会背景に深い理解を持ち、実践的課題探求や後進の育成に教育者・実践者として貢献できる力
3. 高度な実践的課題探求並びに学術に貢献できる高い水準と独創性を備えた博士論文の完成

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

死生学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 必修科目「死生学研究法Ⅰ」「死生学研究法Ⅱ」を通して研究の基礎となる方法論や研究倫理を修得する。「宗教の公共性」「死生観・生命倫理」「臨床スピリチュアルケア」の3学群から、演習科目3科目（6単位）を選択必修科目として履修し、研究学問分野について研鑽を深める。さらに、選択科目を通して関連領域の学際的知識を深める。
2. 宗教・伝統・歴史・思想にかかわる人文社会科学の高度な学際的・専門的知識を深めると同時に、インターシッブ科目や実習科目の履修で死生学的課題の現場に直接参与する経験を通し、死生学的課題について実践的な問題理解力を修得させる。
3. 入学直後に指定される指導教員による、毎学期の「研究指導」科目における密接な研究指導のもと、適切な課題理解と研究方法に基づく修士論文を作成させる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「実践宗教学コロキウムⅠ」「実践宗教学コロキウムⅡ」を必修科目として配置し、学術研究に不可欠な建設的批判を行う能力と研究倫理を身につけ、研究基礎力を養う。
2. 学生の多様な目的意識と学問的関心に対応するため、複数の領域から自己選択できる特殊研究科目群を配置し、その履修を通じて研究分野について研鑽を深め、高度な死生学的課題に係る知識を身につける。ケア実践力強化を必要とする学生は、現場実習を含む科目の履修を通じて、臨床実践力・指導力を養う。
3. 個別の課題に応じた研究指導により研究応用力ならびに表現力を身に付け、研究計画審査を経て、研究者として求められる高度な専門性と独創性のある研究力ならびに教育者として求められる確かな教育能力を身につける。
4. 科目履修および研究指導をふまえ、予備論文の審査を経て、実践的視野を備えた独創的で主体的な研究計画のもと、博士論文の執筆をさせる。

死生学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└死生学研究法Ⅰ	2		
└死生学研究法Ⅱ	2		
▶選択必修科目	6		選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得することが望ましい
└第1群			
└第2群			
└第3群			
▶選択科目	20		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで） 東洋英和女学院大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり, かつ, 当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性を有していること。
- 専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解, 修得されていること。
- 先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を理解し, かつ, 先行研究が十分に参照・明記され, 引用が正確になされていること。
- 研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して, 研究方法・分析方法が適切であること。
- 論文構成の適切性
論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。また, 論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- 倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また, 本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- 論文としての体裁, 形式上の適切性
章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること, 文章が明解で, 論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。

【研究指導スケジュール】 ※4月に実施する専攻ガイダンスで配付する「博士前期課程スケジュール」にて, 詳細を説明します。

事項	月日	対象	備考
研究計画概要書の提出	10月下旬	M1	
「人を対象とする研究」に関する倫理委員会へ審査申請	1月～3月	M1	必要に応じて申請
修士論文研究計画書の提出	5月中旬	M2	長期履修生であっても提出すること
修士論文の履修登録	9月下旬～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行う
修士論文提出	1月中旬	M2	
修士論文審査会	2月中旬	M2	
修士論文発表会	3月上旬～中旬	M2	M1も参加

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究法Ⅰ	2		
死生学研究法Ⅱ	2		
<第1群>			
宗教学演習（2021年度まで開講）		2	
宗教的人間論演習		2	
宗教史演習		2	
宗教と社会演習		2	
<第2群>			
死生学演習		2	
生命倫理学演習		2	
医療人文学演習		2	
<第3群>			
臨床スピリチュアルケア演習		2	
生涯発達論演習		2	
<選択科目>			
宗教学研究（2021年度まで開講）			2
宗教的人間論研究			2
比較宗教学			2
宗教史研究Ⅰ			2
宗教史研究Ⅱ			2
宗教と社会研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究			2
生命倫理学研究			2
臨床倫理学原論			2
臨床倫理学特論			2
実践宗教学研究Ⅰ（2021年度まで開講）			2
実践宗教学研究Ⅱ（2021年度まで開講）			2
教会一致運動研究Ⅰ			2
教会一致運動研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア研究			2
生涯発達論研究Ⅰ			2
生涯発達論研究Ⅱ			2
宗教と身体性			2
英語文献講読			2
（他）キリスト教教育ゼミナールⅡ ※1			2
（他）分野横断研究法：原理と技法 ※2			2
実践宗教学インターンシップAⅠ			1
実践宗教学インターンシップAⅡ			1
実践宗教学インターンシップBⅠ			1
実践宗教学インターンシップBⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習AⅡ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅠ			2
臨床スピリチュアルケア実習BⅡ			2

※1 神学専攻開講科目。詳細はp.14参照。

※2 大学院分野横断科目（心理学専攻開講科目）

3. 履修上の注意

- 1) 博士前期課程の修了要件は、必修科目 4 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 選択必修科目の必要単位数 6 単位については、3つの群のうち選択した1つの群から4単位およびその他の群から2単位を修得することが望ましい。なお、選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合、選択科目の単位数に充当することができる。
- 4) 他の研究科の科目を履修して、その単位を選択科目として修了に必要な単位とする場合は、Loyola での履修登録手続きに加え、所定の手続きが必要となる。詳細は、2022 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.35 を参照すること。また、上記の取り扱いとは異なり、「キリスト教教育ゼミナールⅡ」と「分野横断研究法：原理と技法」は、Loyola で履修登録を行うことで、その単位を選択科目として修了に必要な単位とすることができる。なお、「分野横断研究法：原理と技法」は、分野別横断型の科目として、2022 年度から新たに開設される。定員 30 名の抽選科目となるので、抽選に係る所定の手続きが必要となる。詳細は、2022 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31 を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。
- 5) 博士前期課程の学生は、専任教員 1 名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、修士論文や研究報告の作成を行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MARL1010	春	死生学研究法 I	RES501-35j00	2	寺尾 寿芳 佐藤 啓介 葛西 賢太		輪講
MARL6010	春	宗教の人間論演習	RES503-35j00	2	酒井 陽介		
MARL6030	春	宗教と社会演習	RES505-35j00	2	寺尾 寿芳		後期課程「宗教と社会特殊研究 I」と合併
MARL6110	春	死生学演習	RES506-35j00	2	佐藤 啓介		後期課程「死生学特殊研究 I」と合併
MARL6130	春	医療人文学演習	RES508-35j00	2	* 加藤 眞三		
MARL6210	春	臨床スピリチュアルケア演習	RES509-35j00	2	葛西 賢太		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究 I」と合併
MARL7060	春	生命倫理学研究	RES515-35j00	2	浅見 昇吾		後期課程「生命倫理学特殊研究 II」と合併
MARL7070	春	臨床倫理学原論	RES516-35j00	2	(他)寺田 俊郎		前期課程哲学専攻「現代倫理学研究 I」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学 I」と合併 哲学の一分野としての倫理学の欧文文献を読み、討論する授業
MARL7131	春	宗教史研究 I	RES524-35e00	2	DROTT Edward	○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」及び後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY1」と合併
MARL7132	春	宗教史研究 II	RES525-35e00	2	DROTT Edward	○	隔年開講 前期課程グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY2」及び後期課程グローバル社会専攻「ADVANCED STUDIES IN RELIGION AND JAPANESE SOCIETY 2」と合併
MARL1030	春	英語文献講読	RES533-35j00	2	佐藤 啓介		オンライン授業
MARL7400	春	実践宗教学インターンシップ A I	RES527-35j00	1	死生学専攻各指導教員		M1 対象
MARL7420	春	実践宗教学インターンシップ B I	RES601-35j00	1	死生学専攻各指導教員		M2 対象
MARL7540	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A I	RES529-35j00	2	葛西 賢太 酒井 陽介		春学期集中(夏期休暇中), M1 対象, Loyola 上は 2Q の扱いとなる
MARL7560	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B I	RES603-35j00	2	葛西 賢太 酒井 陽介		春学期集中(夏期休暇中), M2 対象, Loyola 上は 2Q の扱いとなる
MARL1020	秋	死生学研究法 II	RES502-35j00	2	寺尾 寿芳 佐藤 啓介 葛西 賢太		輪講
MARL6020	秋	宗教史演習	RES504-35j00	2	(他)村上 辰雄		
MARL6120	秋	生命倫理学演習	RES507-35j00	2	浅見 昇吾		後期課程「生命倫理学特殊研究 I」と合併
MARL7010	秋	宗教の人間論研究	RES511-35j00	2	酒井 陽介		
MARL7040	秋	宗教と社会研究	RES513-35j00	2	寺尾 寿芳		後期課程「宗教と社会特殊研究 II」と合併
MARL7050	秋	死生学研究	RES514-35j00	2	佐藤 啓介		後期課程「死生学特殊研究 II」と合併
MARL7130	秋	生涯発達論研究 II	RES522-35j00	2	武田 なほみ		隔年開講, 神学専攻「パストラル・ケア特講」及び後期課程「生涯発達論特殊研究 III」と合併
MARL7110	秋	臨床スピリチュアルケア研究	RES520-35j00	2	葛西 賢太		後期課程「臨床スピリチュアルケア特殊研究 II」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MARL7020	秋	比較宗教学	RES512-35j00	2	佐藤 啓介		後期課程「実践宗教学特殊研究」と合併
MARL7150	秋	宗教と身体性	RES526-35j00	2	吉田 美和子		
MARL7080	秋	臨床倫理学特論	RES517-35j00	2	(他)寺田 俊郎		前期課程哲学専攻「現代倫理学研究Ⅱ」及び後期課程哲学専攻「哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ」と合併 哲学の一分野としての倫理学の欧文文献を読み、討論する授業
MARL7100	秋	教会一致運動研究Ⅱ	RES519-35j00	2	(他)角田 佑一		隔年開講, 神学専攻「エキュメニズムⅡ」と合併
MARL1040	秋	英語文献講読	RES533-35j00	2	寺尾 寿芳		オンライン授業
MARL7410	秋	実践宗教学インターンシップ A Ⅱ	RES528-35j00	1	死生学専攻各指導教員		M1 対象
MARL7430	秋	実践宗教学インターンシップ B Ⅱ	RES602-35j00	1	死生学専攻各指導教員		M2 対象
MARL7550	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A Ⅱ	RES530-35j00	2	葛西 賢太 酒井 陽介		秋学期集中(春期休暇中), M1 対象, Loyola 上は 4Q の扱いとなる
MARL7570	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B Ⅱ	RES604-35j00	2	葛西 賢太 酒井 陽介		秋学期集中(春期休暇中), M2 対象, Loyola 上は 4Q の扱いとなる
MARL6220	休講	生涯発達論演習	RES510-35j00	2			後期課程「生涯発達論特殊研究Ⅰ」と合併
MARL7120	休講	生涯発達論研究Ⅰ	RES521-35j00	2			隔年開講, 神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」及び後期課程「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併
MARL7090	休講	教会一致運動研究Ⅰ	RES518-35j00	2			隔年開講, 神学専攻「エキュメニズムⅠ」と合併
MARL9010	秋	修士論文	RES699-35j00	0	死生学専攻各指導教員		M2 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES599-35j00	浅見 昇吾	
	葛西 賢太	
	佐藤 啓介	
	武田 なほみ	2022 年度春学期サバティカル
	寺尾 寿芳	
	吉田 美和子	
	酒井 陽介	

死生学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
授業科目			
・必修科目	2		
└実践宗教学コロキウムⅠ	1		
└実践宗教学コロキウムⅡ	1		
・選択科目	4		
└自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験 に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり, かつ, 当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性並びに先端性を有していること。
- 2) 専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解, 修得されていること。
- 3) 先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を広範囲に把握, かつ理解し, かつ, 先行研究が十分に参照・明記され, 引用が正確になされていること。
- 4) 研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して, 研究方法・分析方法が適切であること。
- 5) 論文構成の適切性
論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。また, 論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- 6) 倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また, 本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 論文としての体裁, 形式上の適切性
章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること, 文章が明解で, 論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。
- 8) 学会での発表等
論文を構成する部分が, 専門学会での発表, または, 投稿論文などによる研究成果を踏まえていること。
- 9) 論文提出の条件
論文（査読してあるもの）または研究ノートを2本以上発表していることが論文提出の目安となる。

【研究指導スケジュール】 ※4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程スケジュール」にて, 詳細を説明します。

事項	月日	対象	備考
博士論文作成までのスケジュールの説明	4月上旬	D1	
研究課題・研究計画（案）に基づき, 研究指導教員を決定	5月	D1	
博士論文計画概要書の提出	10月	D1	
「人を対象とする研究」に関する倫理委員会へ審査申請	10月～3月	D1	必要に応じて申請
研究計画に基づき副指導教員を決定	5月～9月	D2	
予備論文の提出	10月～3月	D2	
博士論文提出	5月～9月	D3	
博士論文審査	10月～2月	D3	

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
実践宗教学コロキウムⅠ	1		
実践宗教学コロキウムⅡ	1		
＜選択科目＞			
死生学特殊研究Ⅰ			2
死生学特殊研究Ⅱ			2
宗教と社会特殊研究Ⅰ			2
宗教と社会特殊研究Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
生命倫理学特殊研究Ⅰ			2
生命倫理学特殊研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ			2
臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅰ			2
生涯発達論特殊研究Ⅱ			2
生涯発達論特殊研究Ⅲ			2
実践宗教学特殊研究			2

3. 履修上の注意

- 1) 博士後期課程の修了要件は、必修科目 2 単位を含む 6 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。必要な合格科目数も定められているので、1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 博士後期課程の学生は、専任教員 1 名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、博士論文や研究報告の作成を行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DARL1010	春	実践宗教学コロキウムⅠ	RES801-35j00	1	死生学専攻全指導教員		
DARL7010	春	死生学特殊研究Ⅰ	RES803-35j00	2	佐藤 啓介		前期課程「死生学演習」と合併
DARL7030	春	宗教と社会特殊研究Ⅰ	RES805-35j00	2	寺尾 寿芳		前期課程「宗教と社会演習」と合併
DARL7060	春	生命倫理学特殊研究Ⅱ	RES808-35j00	2	浅見 昇吾		前期課程「生命倫理学研究」と合併
DARL7070	春	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅰ	RES809-35j00	2	葛西 賢太		前期課程「臨床スピリチュアルケア演習」と合併
DARL1020	秋	実践宗教学コロキウムⅡ	RES802-35j00	1	死生学専攻全指導教員		
DARL7040	秋	宗教と社会特殊研究Ⅱ	RES806-35j00	2	寺尾 寿芳		前期課程「宗教と社会研究」と合併
DARL7020	秋	死生学特殊研究Ⅱ	RES804-35j00	2	佐藤 啓介		前期課程「死生学研究」と合併
DARL7050	秋	生命倫理学特殊研究Ⅰ	RES807-35j00	2	浅見 昇吾		前期課程「生命倫理学演習」と合併
DARL7120	秋	実践宗教学特殊研究	RES814-35j00	2	佐藤 啓介		前期課程「比較宗教学」と合併
DARL7110	秋	生涯発達論特殊研究Ⅲ	RES813-35j00	2	武田 なほみ		隔年開講, 前期課程「生涯発達論研究Ⅱ」及び前期課程神学専攻「パストラル・ケア特講」と合併
DARL7080	秋	臨床スピリチュアルケア特殊研究Ⅱ	RES810-35j00	2	葛西 賢太		前期課程「臨床スピリチュアルケア研究」と合併
DARL7090	休講	生涯発達論特殊研究Ⅰ	RES811-35j00	2			前期課程「生涯発達論演習」と合併
DARL7100	休講	生涯発達論特殊研究Ⅱ	RES812-35j00	2			隔年開講, 前期課程「生涯発達論研究Ⅰ」及び前期課程神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」と合併

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
RES899-35j00	浅見 昇吾	
	葛西 賢太	
	佐藤 啓介	
	武田 なほみ	2022年度春学期サバティカル
	寺尾 寿芳	